



作者コメント

英国から連れて帰って50年、5年前に引っ越しの時に養女に出しました。
元気にしているかしら。

喜田コメント

人形を描くのがお上手ですね。構図的にも小さい人形の存在が絵を面白くしました。良い構図です。右上の空間の処理も素晴らしいです。人形の顔は人間の顔と異なりますが、その違いもよく描けています。何か指摘しようと思いましたが、上手すぎて何も言うことがありません。

遠矢慶子 「私のお人形」

F6 (パステル)

作者コメント

クリスマスローズの花は春の予感です。
ハイキーな柔らかな日差しと白い花の雰囲気
をどう描くか苦戦しました。

喜田コメント

黒田さんの最大の強みは1ミクロンまで正確に描く力です。これを武器に伸ばしてください。1ミクロンの描写力と雰囲気を表現する背景の朦朧を如何にマッチさせるかが勝負です。



黒田重雄 「春待ちのクリスマスローズ」 F5 (水彩)

作者コメント

丑年に合わせ、年明けに描き始めましたが、仕上がりが2月になってしまいました。可愛い牛さんが、皆様に福をお届けします。

喜田コメント

美しい色彩です。金泥を使わずに金屏風を見事に描き上げました。また、黒が効果的です。テーブルクロスチェックの色は赤など、強いほうが良い。



筒井隆一 「福俵のお届け」 F4 (水彩)

作者コメント

私は牡丹は5月頃の花と思っていましたが、二季咲きの寒牡丹があることを知りました。1月頃の寒牡丹は葉っぱが少なく、3月頃になると書いてありますが、見本の写真は葉っぱが多いように思いますけど、そのまま作りました。

喜田コメント

ちぎり絵でよくここまで、色調のグラデーションを表現できると感心しました。花卉の繊細な表現はどのように工夫したのでしょうか？月川さんは「新聞紙のちぎり絵」を最初に始められました、私はきれいな色紙よりも、新聞紙の面白さに惹かれます。



月川りき江 「寒牡丹と椿」
葉書サイズ2枚組 (ちぎり絵)



武智康子 「冠雪の椿」 F4 (水彩)

作者コメント

1月27日に東京に雪が降った日、我が家の隣の公園にある椿にも雪が降り積りました。とても美しく映えていたので写真に撮りました。その写真を見て描きました。雪を表現するのが難しかったです。

喜田コメント

よく椿の花などが描けていますが、雪の表現に課題があります。雪に埋もれた椿に見えます。例えば、枝に積もった雪の描き方、葉っぱに積もった雪の描き方を一緒に研究しましょう。



作者コメント

正月飾りの常緑針葉と補色対比の花卉でモヤモヤ感の払拭にチャレンジしてみました。

喜田コメント

背筋がすっきりと伸びた描き方です。一束の花の芯がしっかりしています。若林さんはとても上手いです。色彩、影の強弱、光と影、筆の勢いと強さなど、なかなか真似できません。朦朧とした背景との対比も立派です。机の表現をもっと工夫してください。

若林哲史 「新春の壽『松と花卉』」
F4 (水彩)



作者
コメント

モチーフは母の大好きな梅の花。とても良い香りです。そして私の大好きな鳥です。春らしさを表現出来たら満足です。

岡田理子 「春の訪れ」 F4 (水彩)

岡田さんは小鳥の描き方が上手です。先々月の「インコ」も上手でした。今回、この小鳥は「鶯」ですか？右下の小鳥は鶯に見えますが、左の小鳥は？大変面白い構図ですが、梅の枝をもっとしっかりと描くと、さらに良くなります。

作者コメント

モチーフを求めて彷徨い、良い構図を見つけられず、5年前の写真から、やっと見つけ紅白梅を描きました。

喜田コメント

喜田コメント

大木の幹の向こうに空を透かして小枝の群れがある構図が面白い。猫が1匹枝に張り付いているのが不自然です。



井上清彦 「谷保天満宮の紅白梅」 F4 (水彩)

作者コメント

この交番は、レンガ造りの青い屋根の交番です。周りの景色に溶け込んでいい雰囲気です。

喜田コメント

なだらかな登り坂の赤坂の雰囲気が良く出ています。もっと意識して「色」や「線」の強弱をつけてください。絵がもっと強く面白くなります。



竹前義博 「赤坂五丁目交差点の交番」 F4 (水彩)

作者コメント

毎日、午前中に自宅の近くをスケッチブックを持って散歩をしています。毎日2~3枚は描きます。この「黄色い家」もその中の1枚です。



喜田祐三 「黄色い家 (散歩シリーズ1)」 F3 (水彩)

以上